

PCOF  
Japan  
Prospective Cohort study female  
Oncofertility in Japan

# 妊娠を “あきらめない” という選択を

クラウドファンディング実施

女性のがん治療の研究に  
ご支援をお願いします

最終目標金額 2,000万円

第1回  
目標金額

650万円

All or Nothing  
寄付金控除型

2025  
3/18(火) - 5/16(金)

23:00 締切

## がん治療に向きあう患者さんの、 妊娠の可能性を予測するための研究に



研究代表者  
森重 健一郎

AYA 世代(15~39歳)のがん患者さんは、がん治療によって妊孕性(にんようせい=妊娠する力)に影響を受ける可能性があり、将来妊娠を希望する患者さんにとって、治療前に難しい選択を迫られます。

現在の治療ガイドラインは、がん治療後の卵巣機能を月経の有無のみで評価した欧米データに基づいており、治療の影響を正確に反映できていません。そこで、日本人のための適正な治療ガイドラインの作成を目指し、このプロジェクトを立ち上げました。AYA 世代のがん治療患者さんが妊娠という選択肢を“あきらめない”で過ごせる未来のために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



※本プロジェクトは All or nothing 方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。  
※本クラウドファンディングへのご寄付は、税制上の優遇措置の対象になります。

大阪急性期・総合医療センター レディーフォー

# がん治療で、 妊娠をあきらめないでほしい。

## 患者さんの“未来”のために、 今の私たちができること。



大阪急性期・総合医療センター  
生殖医療センター プロジェクトメンバー

私たちの行う研究は、AYA世代の女性がん患者さんを対象に、がん治療後の卵巣機能がどのように変化するかを明らかにすることを目的としています。治療内容や患者さんの特徴をもとに、治療後の妊娠の可能性を予測するモデルを作成し、患者さんが妊孕性を保ちながら治療を受けられる選択肢を提供することを目指しています。

### ■ プロジェクトについて

がん治療前に妊孕性温存療法について説明を受け、研究への参加に同意いただいた18歳から43歳未満の女性の患者さんを対象に、一定期間追跡し変化を観察します。患者さん個々の治療内容や年齢、がんの種類などの背景情報を記録しながら、治療による因果関係を分析することで、治療内容ごとの卵巣機能への影響を詳細に評価し、日本人患者に特化した予測モデルの構築を目指します。

### ■ 研究の詳細について

#### ① 調査内容

治療開始前、治療後1年、治療後2年の時点で血液中の卵巣機能を示す指標、月経の有無、がんの種類や内容などのデータを収集します。

#### ② データ分析と予測モデルの作成

集めたデータを患者さんの年齢やがんの種類、治療内容ごとに卵巣機能の変化を比較し、治療後の卵巣機能を高い精度で予測するモデルをAI（人工知能）を活用して作成することで、患者さんごとに妊孕性への影響を最小限に抑える治療法を提案できる仕組み作りを目指します。

#### ③ Web ツールの開発

作成した予測モデルをもとに、治療後の妊娠の可能性を最大限に保つためのWEBツールを開発します。これにより、患者さんと医師と一緒に最適な治療計画を立てるためのサポートが可能になると考えています。

### ■ 研究スケジュールと協力施設

この研究は2024年3月に開始し、2028年までに研究結果をまとめる予定です。現在の協力施設は、がん治療施設や妊孕性温存療法を行う大阪府内の37施設と首都圏2施設です。さらに4施設が参加予定であり、今後全国の施設に拡大を進めていきます。

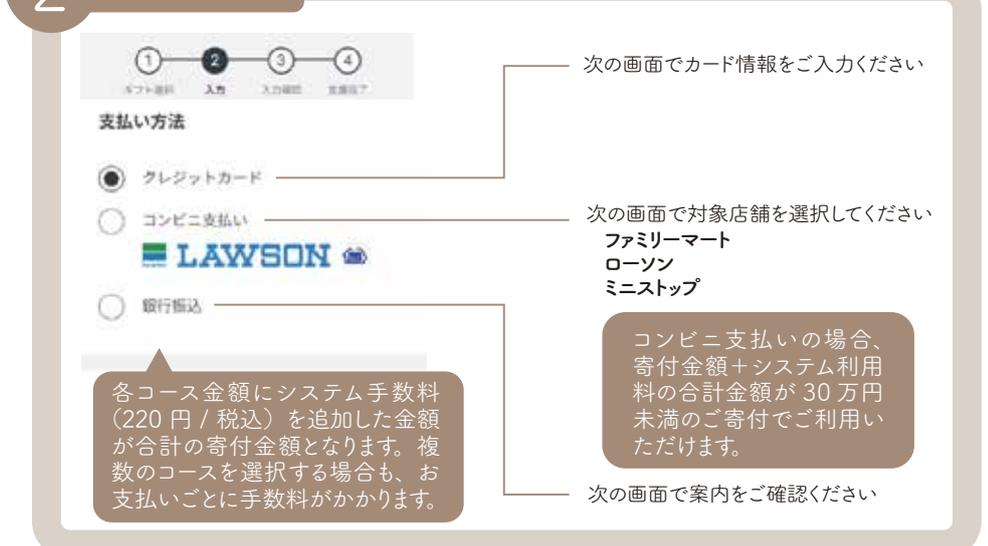
※本クラウドファンディングにおいては、本研究(PCOF)の遂行に向けてご寄付を活用いたします。必ずしもスケジュール通りに進行でき、想定通りの結果が得られるとは限りません。大幅な変更が生じる場合にも、活動報告などを通じてお知らせしながら、皆さまのご寄付を大切に活用いたします。

## ご寄付について

### 1 プロジェクトページからコースを選択



### 2 支払方法を選択



本プロジェクトは All or nothing 方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。銀行振込・コンビニ支払いを選択の場合は「寄付履歴」から「返金先情報」の設定をご確認ください。本クラウドファンディングへのご寄付は、税制上の優遇措置の対象になります。